

学校教育目標

「自ら学び 心豊かに 未来を拓く子」の育成

<自ら学び>

【主体的に取り組む力】

知ること、気づくこと、発見することの喜びを感じる

【学びに向かう力】

* チャレンジ精神をもって、いきいきと粘り強く取り組む

<心豊かに>

【自らの心を育てる力】

共感する心・感動する心・奮い起こす心

【自他を大切にす力】

相手の立場を理解し、自分と人とのつながりを意識する

<未来を拓く>

【実践的判断力】

学びを活かし、行動する

【自己実現を果たす力】

未来を創造し、たくましく生きる

<鏡山小学校のめざす子ども像>

かがやく子 がんばる みんなと やさしく まえむき

「かがやく子」…一人一人が輝く姿
「がんばる」…目標に向けて自ら粘り強く努力する姿
「みんなと」…学び合える姿
「やさしく」…相手の立場や思いを受け入れ、関わる姿
「まえむき」…未来に向けて今を大切にする姿

未来を見据えた「つきたい力」をつけるために

知

— 確かな学力 —

- 『未来創造力』:「つきたい力」を明確にし、「関係づける力」を伸長させる教育活動の創出
- * 学校教育活動全域による「キャリア教育」の推進
- * すべての子どもにわかる喜びと楽しさを実感できる学習指導
- * 毎時の授業において「学習課題を明示」、「まとめ」と「振り返り」を徹底した授業
- * 知的好奇心や探究心を喚起する授業の工夫: 問題解決学習・探求活動の推進
- * 授業展開や思考の過程(アウトプット)に重点をおいた授業
- 学び合いの場の工夫・言語活動の充実・ICT機器の活用(GIGAスクール)
- 論理的思考の育成・プログラミング教育の推進
- 授業と連動した家庭学習を進め、家庭での自学自習を習慣化・ノート指導の充実
- ・9年間の学びの保障:「小中一貫教育の推進」(未来創造学習)

徳

— 豊かな心 —

- 学校教育活動全体を通じた人権教育の推進
- * 自他を大切にすための価値を学び、実践的判断力を培う教育活動
- * 「ひだまり学習」(鏡山小人権学習)
- 児童に届く特別支援教育の推進
- 「しなやかな道徳教育」
- * 体験的な活動における道徳教育の実践
- 「生徒指導の三機能の実践・推進
- * 体験的な活動を通して豊かな感性・情操を育む教育活動の実践
- * 支え合い高め合う学習集団の形成
- * 自尊感情・自己有用感が高められる学習活動の推進
- * 異年齢集団等児童会活動の充実
- * いじめや暴力など許さない集団づくりの推進(学校いじめ防止基本方針)
- 情報モラル学習の徹底
- * 携帯・スマホやインターネットの危険性に対する指導と啓発

体

— 健やかな体 —

- すべての子どもが運動・スポーツの楽しさや喜びを味わえる学習活動の充実
- 危険や事故、事件を回避できる子どもの育成
- ・安全教育・防災教育の充実
- 食に関する指導の推進
- ・楽しい学校給食
- ・望ましい食習慣の形成
- ・食に関わる人々と食物への感謝の心
- 食物アレルギー・アナフィラキシーに対する的確な対応
- 飲酒・喫煙・薬物乱用防止などへの積極的な取組の推進
- 食事、運動、睡眠の調和の取れた生活(早寝・早起き・朝ご飯)
- 発達段階に応じた性教育の充実
- ジャンプアッププログラムによる基礎体力の増進

意志を共有し、主体的に取り組む教職員

めざす教職員像

「学び続ける教職員」……教職員自らが課題解決のために学び続ける力をもつ

「受容と理解」……求められる支援と指導、「つきたい力」「関係づける力」

「主体的に行動できる教職員」……ベクトルを揃え、大きな力、活力へ

未来を創造し、未来を切り拓く活力のある学校

「意志あるところに道は拓ける」

今年度の重点

「児童理解に始まり、児童理解に終わる」

- ◇ 常に子どもの姿に立ち返る
子どもの背景に迫る「児童観察」と「共有」
- ◇ 生徒指導の三機能を活かした教育活動
- ◇ 届く支援、活きる指導

「授業で育てる」⇔実践的研究の推進

- ◇ 焦点化指導を進める
「指導が届きにくい子どもに届く授業は、すべての子どもの学力を向上させる」という考えに立ち、『焦点化児童』を設定し、授業を改善する。
- ◇ 学習集団へ高める
すべての子どもに響き、届く授業づくりにより、学級集団を学習集団に高める
- ◇ 子どもの力を活用して子どもを育てる
授業の中に意見交流や練り上げのための話し合いを位置付け、共に深める場面を設定することで、学校の特性である「集団で学ぶ意味」を具現化する
- ◇ 学びの実感、納得のあるプロセスを大切にして進める
すべての子どもが実感したり体験したりすることを通して、自らの考えを持ち、表現する喜びを知る。

「見せる姿、見る姿」

- ◇ 異学年間のまなざし
上級生は下級生の眼や映る姿を意識して行動し、手本であるという認識を高める（率先垂範）
下級生は上級生のよい姿にあこがれをもち、「自分もあんな上級生になりたい」という希望を抱かせる
- ◇ 教職員から子どもへのまなざし
教師が決済すれば時間はかからないが、信頼のまなざしのもと、子どものおもいや心の動きを読み取り、子ども自身がどのように考えているのかをしっかりと聴く機会を大切にする
- ◇ 子どもから教職員へのまなざし
「教職員は子どものかがみ」であることを自覚し、「言葉遣い」「身だしなみ」「時間を守る」「約束を守る」等の範を示す（率先垂範）

「地域・保護者と共に育てる」 協働・社会に開かれた教育課程の策定

- ◇ 保護者の願いやおもいを十分に聴く（傾聴）
教師側の要件を一方向的に伝えるのではなく、その前に保護者の話を十分に聴き、おもいの芯がどこにあるのかを探る
- ◇ 保護者・地域との連携強化は間断ない情報発信から
「おたより」に子どもの生き生きと活躍する様子を載せたり、学校・学年・担任として大切にしていることを含んだ記事を載せたりして学校への理解を深め、子どもを共に育てる気風をつくり上げていく

小中一貫教育の推進

- ◇ 9年間の学びの保障
つきたい力の明確化とそれらを「関係づける力」
- ◇ 探究活動・・・「未来創造学習」